

共に生きる



皆さんは、「障がい」について考えたことはありますか。

障がいの有無に関わらず誰もが共に生きる社会を目指す「障害者差別解消法」が施行されて1年半。「広報あつぎ」12月1日号では、障がいを理解し、誰もが暮らしやすい社会の実現に近づくため、「共に生きる」をテーマに、障がいに関する特集を組みました。その中で、障がいに対して抱く疑問について市民の皆さん約400人にアンケートを実施。ここでは、紙面に掲載できなかった疑問への回答のほか、市内中高生が考える、障がい者と健常者が共に生きる上で大切だと思うことを書いたメッセージを紹介します。

※「障害」の表記・・・人の状態を表さない場合や固有名詞を除き「障がい」と表記しています。

あなたはどれだけ知ってる？

「障がい」のこと

Q 障がい者マークが付いている駐車場は、どんな人が使っているの。

A 全ての障がい者が利用できます。場所によって、車いす使用者のために、乗り降りに必要な幅を確保するよう広がっていることがありますので、その場合は車いす使用者を優先してください。



マークは、「障がい者が利用できる設備や建物、場所」を示します

Q 子どもに障がいのことを、どう教えたらいいのかわからない。

A 市では平成29年3月に、障がいのある人を理解するためのガイドブック「この街でともに」の改訂版を発行しました。障がいの特性や望まれる支援、障がい者団体や各種相談窓口などを紹介しています。障がい福祉課窓口で配布していますので、障がいを理解する一助としてご利用ください。



Q 「ノーマライゼーション」って、どういう意味。

A 障がいのある人もない人も、互いに支え合い、同じように社会で安心して生活していけるように社会環境を整備していこうとする考え方です。

Q みんなのトイレは健常者が使ってはいけないの。

A 誰もが利用できるトイレとして県で定めていますが、車いす利用者やオストメイトの方など、特に必要とする方を優先していただくようお願いします。



Q 駅やお店で障がい者が困ってのを見掛けたので、事業者に対応をお願いしたけど、何もしてくれなかった。どこに相談したらいいの。

A 民間事業者などによる差別的な取り扱いについては、県の障害福祉課で相談を受け付けています。
相談窓口Tel 045-212-0304(平日8時30分~17時15分)

Q 車いすや白杖を利用している方を補助するには、講座を受けたり、資格を取ったりしなきゃいけないの。

A 専門知識や資格がなくてもできるちょっとした手助けがたくさんあります。障がいのある方が困っていたら、まず「手伝えることはありますか」などと声を掛けて、本人が希望することを聞いてみましょう。

Q 障がいについて学びたくても、学べる場所が分からない。障がい者と接しながら学べる場所はあるの。

A ボランティア団体の活動に参加する方法があります。現在市内で活動している主なボランティア団体の活動内容は以下のとおりですので、参考にしてみてください。

厚木市録音赤十字奉仕団

視覚障がい者へ、広報あつぎや社協あつぎ、交流誌などさまざまな文字情報をCDに録音して提供しています。

厚木市点訳赤十字奉仕団

視覚障がい者へ、点字による文字情報の提供や、弱視の児童・生徒のための教科書を拡大写本して提供しています。

厚木市誘導赤十字奉仕団

視覚障がい者の外出時の誘導や交流事業などを行っています。

手話サークル「あゆの会」

手話技術の習得と聴覚障がい者への理解を推進しています。小中学校での手話教室や手話入門講座などの普及活動をしています。

あつぎ筆記通訳サークル「道」

パソコンや手書きによる要約筆記通訳技術の習得と聴覚障がい者への文字による情報伝達を支援しています。

Q 街中で困っている障がい者を見掛けても、なんて声を掛けたらいいのか分からない。声を掛けられたくないのではと思ってしまう。

A 「何か手伝いましょうか」と声を掛けられたら、多くの方はうれしいと思います。私の場合はまず、「こんにちは」とあいさつしてもらえると、安心できます。性格によってサポートを断る方もいるかもしれませんが「障がい者だから」ではありません。健常者と区別せず、自然に接してもらえるとうれしいです。

Q 後ろから車が来ていたので声を掛けたけど、耳が聞こえない方だったみたい。すぐに危険を知らせるにはどうしたらいいの。

A 私たち聴覚障がい者は、危険が迫っていても、声や音では気付けません。危険なときは、遠慮なく視線を合わせて身振り手振りで教えてもらえると助かります。

Q 視覚障がい者が人ごみで歩きにくそうにしていたので、誘導しようと肩をたたいたらびっくりさせてしまった。どうしたら良かったの。

A 健常者でも同じですが、いきなり引っ張られたり押されたりすると、とても驚いてしまいます。命の危険などではない限りは、まずは横から優しく声を掛けると良いと思います。

Q 電車やバスの優先席では携帯の電源を切らなきゃいけないの。

A 優先席は、血流を正常にするためのペースメーカーを埋め込んでいる方も多く利用します。携帯電話が発する電波は15㌫以上近づくと、器具に誤作動を生じさせる恐れがあります。通常はマナーモードで問題ありませんが、混雑時には、不意に近づく危険性があるので、電源を切りましょう。

Q ときどき大きな声で独り言を言っている方を見掛けるけど、どのように接したらいいの。

A 自閉症の方は、気持ちを整理したい時や感情が高ぶっている時など、さまざまな要因で独り言を発します。相手に何かをしてほしい、反応してほしいというわけではありませんので、温かく見守っていただきたいと思います。

Q 障害者差別解消法ってなに。違反すると罰則はあるの。

A 行政や事業者が障がいを理由に差別することを禁止する法律です。「不当な差別的取扱い」を禁止し「合理的な配慮」を求めることで、障がいの有無に関わらず誰もが共に生きる社会を目指すために施行されました。違反したからといって個人への罰則などはありませんが、障がい者が社会に出やすい環境をつくり、健常者と接する機会を増やすという趣旨があります。

第3回かながわパラスポーツフェスタ
中高生ボランティアに聞きました

共生社会に大切だと思うこと

「障がい」を、もっているからといって、
どうか、こうとか、てゆうのを考えて
ほしくない。
同じ人間。「障がい」などを気にせずに
関わってほしい。
バリアフリーをもっと増やすこと。

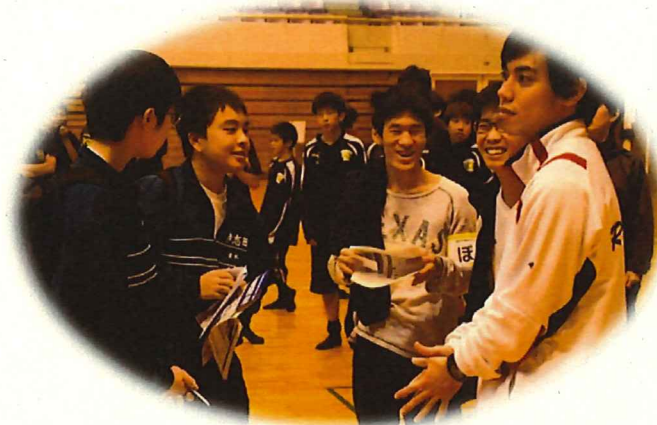


相手の気持ちも
理解しようとする事

「障がい」という言葉で見かた
を変えるのではなく、コミュニケーション
をしていくといいと思う。
笑顔だけでもコミュニケーションのつ
きもあると思う。

思いやりをもって、差別を減らす
ことが大切だと感じました。
多くの方を助けるようなことをしたいので
みんなと同じように接する事も
大切だと感じました。

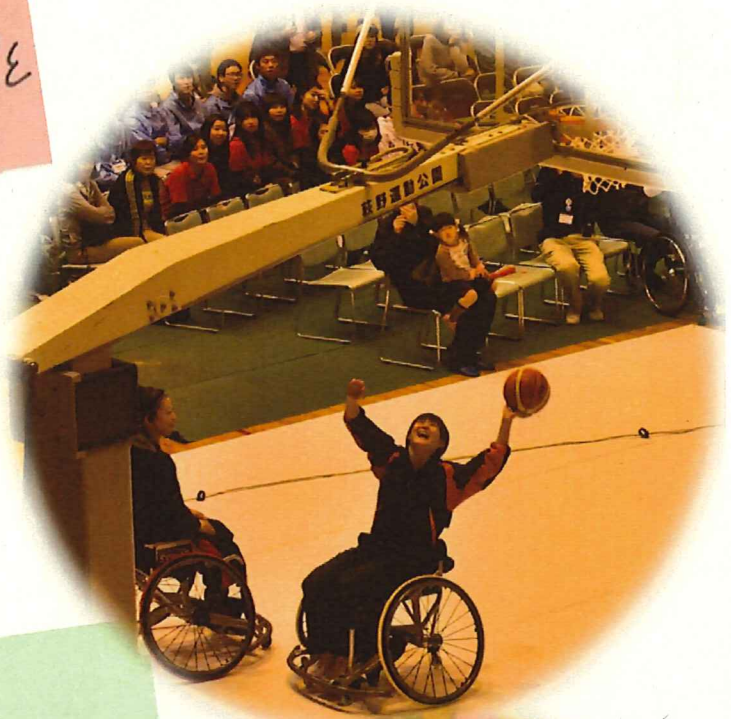
助け合うことが
大切だと思います。



バリアフリー
「障がい」という壁を作らないこと。
健全者の偏見を作り出さないこと。

相手の事をよく見て、人の事を
思いやる事が大切だ"と感じ
ました。
また、バリアフリーなど、"過"ぎしや
すい環境を作る事が大切だ"と
思いました。

互いの事を知らた上での 思いやり



相手を理解しようとする心。

協力すること。

認めあうこと。

思いやりの心を持ち、
障がいをもっている人たちが
"過"ぎしやすい生活にしていくこと
が必要だと思います。



障害者だからといって、他の人
とは変わらないということを知
りました。なので、みんなが
"い"じをかたわせた"と"思"いまし
た。

お互いのことを
よく知り、
一緒に生きること。



助け合うことが
大切だと思います。

思いやりを持って、障がい者でも、
困っていればやさしくさせる。

思いやり

『知るこゝ』は
+αの力になる!

お互いに助け合い、理解にあう
ことが大切だなと思いました。

障害があるからと差別しないで
同じ人間だということをしとく
が忘れないうことだと思います。

